

令和7年度「北上市入退院支援のハンドブック」活用連携会
～報告書/概要編～

1 目的

令和6年1月に2023年度版として改訂した「北上市入退院支援ハンドブック」を活用して、入退院支援に従事する医療や介護専門職等の連携推進と更なる資質の向上を図ることを目的として、令和6年度に引き続き開催する。

2 主催・共催

北上市入退院支援作業部会、地域包括支援センター主任ケアマネ部会

3 開催日時、場所及び参加人数

回	開催日時	会場	参加人数
1	令和7年10月23日（木） 13時30分～15時00分	岩手県立中部病院 2階 講堂	56
2	令和8年 月 日（ ） 13時30分～15時00分	（未定）	

4 受講対象機関及び参加者

(1) 医療機関の職員

岩手県立中部病院、北上済生会病院、花北病院、北上駅前病院、ホームケアクリニックえん、市内診療所、近隣の入院医療機関

※ 入退院支援に従事する専門職員等（退院支援看護師、医療ソーシャルワーカー等）、外来業務に従事する看護師

(2) 介護事業所の職員

地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、（看護）小規模多機能型居宅介護、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護、特定施設入居者生活介護

※ 入退院支援に従事する専門職員等（ケアマネジャー、相談員等）

5 内容

時間	項目	内容	講師等
30分	説明	きたかみいきいきプランについて	北上市長寿介護課
		「入退院支援ハンドブック2023年度版について～入退院支援はだれのため？私たちは何で困っているの？～」	北上市在宅医療介護連携支援センター
		「入退院支援ハンドブック2023年度版のSTEP0～4について実践的に確認しよう」	北上市入退院支援作業部会
60分	グループワーク (発表) (講評)	テーマ 「次へのステップに向けてお互いの共通理解を深めよう」 6・7人×8グループ	北上市入退院支援作業部会 地域包括支援センター主任ケアマネ部会

6 グループワーク（概要）

STEP0からSTEP3を各グループに割り振り、STEP4は全グループで話し合い、医療側、介護側それぞれで“できている、できていない”ことや課題と感じること、次へのSTEPにつながることなどについて共通理解を深めました。

【本ハンドブックは、以下のことを想定して作成されています】

- ◇ 医療・ケアチームが必要とする情報を確認できる。
- ◇ 医療・ケアチームの業務の標準化に活用できる。
- ◇ 医療・ケアチームの効率的・効果的な支援の展開に活用できる。
- ◇ 医療機関・介護事業所等の管理者等が教育マニュアルとして使用できる。

- | | |
|-------|--------------------------|
| STEP0 | 「普段（在宅・施設）の生活」 |
| STEP1 | 「入院時（3日以内をめやすに）」 |
| STEP2 | 「入院中（退院調整期/家族への病状説明以降）」 |
| STEP3 | 「入院中（退院確定/退院前カンファレンス開催）」 |
| STEP4 | 「退院時から在宅・施設生活（退院後1か月程度）」 |

グループ	話し合ったSTEP	概要（キーワードなど）
A	STEP0・STEP4	STEP0：日々の記録詳細記入、訪問診療時に再確認共有 STEP4：情報共有大事、ケアマネ、外来との連携常に
B	STEP0・STEP4	STEP0：急変時事前準備、独居者の緊急連絡先確認 STEP4：カンファでの確認、CM調整、医療面の調整
C	STEP1・STEP4	STEP1：在宅情報提出、服薬再確認、緊急時対応ルール STEP4：退院時情報収集、介護側準備時間、在宅情報
D	STEP1・STEP4	STEP1：在宅情報大事、タイムラグあり、入院直後多忙 STEP4：通院・服薬の確認、外来とCMの連携不足
E	STEP2・STEP4	STEP2：介護申請連絡調整、退院、転院連絡 STEP4：在宅情報活用、転院時の対応、サマリー
F	STEP2・STEP4	STEP2：退院・転院連絡、CMと病院の連携、介護申請 STEP4：在宅情報（生活状況）
G	STEP3・STEP4	STEP3：カンファ、リハ職との共有、ACP、在宅生活 STEP4：医療的ケアの有無、ADL、介護タクシー
H	STEP3・STEP4	STEP3：カンファ、意思決定支援、施設と在宅の選択 STEP4：退院のタイミング、サマリーの活用、外来共有

※ 話し合いに関する詳細分析は、2月の入退院支援作業部会までに作成する。

7 アンケート結果まとめ（数値のみ）

参加者：56名（アンケート回答者：52名）

① 職種を教えてください

職種	人数	割合
看護師（退院支援看護師含む）	10	19.2%
介護支援専門員（主任ケアマネ含む）	<u>23</u>	<u>44.2%</u>
医療ソーシャルワーカー	7	13.5%
社会福祉士	4	7.7%
生活・支援相談員	4	7.7%
サービス提供責任者	1	1.9%
看護学生	2	3.9%
介護職員実習生	1	1.9%
合計	52	

② 「北上市入退院支援ハンドブック」を知っていましたか

選択項目	人数	割合	前年度比
知っていたし活用したことがある	<u>34</u>	<u>65.4%</u>	<u>+9.9%</u>
知っていたが活用したことがない	14	26.9%	-8.1%
知らなかつた	4	7.7%	-1.8%

③ 「特に大切なSTEP」、「難しい、うまくいってないSTEP」を教えてください

※複数回答あり

選択項目	特に大切なSTEP (N=74)		難しい、うまくいってないSTEP (N=44)	
	人数	割合	人数	割合
STEP 0	14	18.9%	6	13.6%
STEP 1	11	14.9%	11	25.0%
STEP 2	14	18.9%	8	18.2%
STEP 3	<u>18</u>	<u>24.3%</u>	7	15.9%
STEP 4	17	23.0%	<u>12</u>	<u>27.3%</u>

④ 連携会に参加した感想

選択項目	人数	割合
良かった	<u>42</u>	<u>80.8%</u>
まあまあ良かった	9	17.3%
あまり良くなかった	1	1.9%
悪くなかった	0	

※ 各設問の選択理由等の詳細分析は、2月の入退院支援作業部会までに作成する。

地域リハビリテーション関係専門職業務実態調査要領
(総合病院向けは調査期間及び調査票様式が一部異なります)

1 調査目的

本調査は、令和6年度診療報酬・介護報酬のダブル改定を受け、医療保険で提供される急性期・回復期のリハビリテーションから介護保険で提供される生活期リハビリテーションへの切れ目ないサービス提供と、口腔・栄養の一体的取組を推進する多職種協働による地域リハビリテーション提供体制を構築するため、市内の医療・介護・福祉事業所等における関係専門職の配置状況及び業務の実態を調査し、今後の施策に資することを目的とする。

2 調査対象事業所

北上市内にある以下の関係機関・事業所とする。

病院、診療所、歯科診療所、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム（地域密着型含む）

認知症グループホーム、小規模多機能ホーム、看護小規模多機能ホーム

訪問看護・訪問リハビリテーション、通所介護（地域密着型・認知症対応型含む）

通所リハビリテーション、運動器機能向上通所、軽費老人ホーム（ケアハウス）

サービス付高齢者住宅、有料老人ホーム、養護老人ホーム 合計 189事業所

※ 障害福祉サービス事業所、児童発達支援事業所及び個人事業主等については、情報収集のうえ隨時調査対象として追加する。

3 調査対象の専門職種

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士、看護師、保健師
柔道整復師、あんまマッサージ指圧師、健康運動指導士

4 調査方法

郵送自記式（様式あり）

5 調査期間・工程

調査票発送：令和7年10月上旬

調査票回収締切り：令和7年10月末

調査票集計・分析作業：令和7年11月～12月

調査結果報告：令和8年1月15日（第3回部会で報告・共有）

6 調査実施機関

調査主体：北上市地域リハビリテーション部会

調査実施：北上市在宅医療介護連携支援センター（北上済生会病院内）

北上市福祉部長寿介護課包括支援係

7 その他

- (1) 当該調査に係る「令和6年度診療報酬・介護報酬ダブル改定」の主な項目概要は別紙1のポンチ図を参照願います。
- (2) 今回の一次調査結果については、北上市が設置する北上市在宅医療介護連携推進協議会の下部組織として、令和7年1月に設置した北上市地域リハビリテーション部会において共有、分析し、必要に応じて二次調査を実施します。なお、上記部会の設置目的及びメンバー構成等については、別紙2を参照願います。

地域リハビリテーション関係専門職業務実態調査票（第一次）

▼ 本調査票を回答する方の所属先・職・氏名・連絡先をご記入ください

回答者	所属先（事業所名称）		
	職・氏名	職名：	氏名：
	連絡先（電話番号）		

問1 貴事業所に所属する以下の専門職（有資格者含む）について教えてください

所属する専門職（国家資格等有資格者）にすべてチェックして人数の記入をお願いします

専門職種別	<input type="checkbox"/> 看護師（助産師含む）	人
	<input type="checkbox"/> 保健師	人
	<input type="checkbox"/> 理学療法士	人
	<input type="checkbox"/> 作業療法士	人
	<input type="checkbox"/> 言語聴覚士	人
	<input type="checkbox"/> 管理栄養士	人
	<input type="checkbox"/> 歯科衛生士	人
	<input type="checkbox"/> 柔道整復師	人
	<input type="checkbox"/> あんまマッサージ指圧師	人
	<input type="checkbox"/> 健康運動指導士	人
<input type="checkbox"/> 上記専門職は所属しておりません		

※1 資格が2つ以上有する職員の場合は、主たる業務資格を1つ選んで記入をお願いします。

※2 常勤、非常勤に関わらずあくまで事業所に所属している場合に記入してください。

※3 "上記専門職は所属しておりません"にチェックの場合は、問4にお進みください。

問2 貴事業所に所属する専門職の業務について教えてください

上記専門職の業務に係る報酬算定対象・評価等にすべてチェックをお願いします

算定等種別	<input type="checkbox"/> 医療保険（診療報酬算定）	※各種加算等含む
	<input type="checkbox"/> 介護保険（介護報酬算定）	※各種加算等含む
	<input type="checkbox"/> 介護保険事業（介護予防総合事業等）	※市からの業務委託など含む
	<input type="checkbox"/> 障害福祉給付費	※障害児、こども療育関係（医療除く）等含む
	<input type="checkbox"/> 自費サービス（公費負担対象外）	※事業所の独自サービスなど

※1 細かい報酬、給付、事業名などを聞きするものではありません。あくまで、所属する専門職が関わる報酬等を広く大枠で整理して連携状況を把握しようとするものです。

問3 通常業務における専門職との連携についてお聞きします

(1) 通常の業務において、医療・介護・障害福祉分野の専門職と連携する機会はありますか
(所属する法人・事業所内の専門職を含みます)

ある ない

(2) あると答えた方にお聞きします。どんな専門職と連携する機会があります。

(医師や薬剤師、介護支援専門員など、問1の調査対象以外の専門職を含みます)

医療職 ()
 介護職 ()
 障害福祉職 ()
 その他 ()

(3) ないと答えた方にお聞きします。以下の選択肢にお答えください。

業務上特に必要がない
 連携を取りたいができる機会がない、連携先が見つからない
 わからない
 その他 ()

問4 リハビリテーション・機能訓練、口腔機能向上、栄養の一体的取組についてお聞きします

(1) 調査目的に記したとおり、地域リハビリテーションの一体的な取組体制を構築していくことについてご意見がありましたら記入をお願いします（自由記載）

（記入欄）

(2) その他、医療、介護及び障がい福祉分野の連携を促進していくことについて、ご意見がありましたら記入をお願いします（自由記載）

（記入欄）

ご協力ありがとうございました。

同封の返信封筒に本調査票を入れて、

10月31日（金）までに郵便ポストに投函をお願いします。

（添書等は不要です。）

【調査票回収率(令和7年11月末現在)】

No.	事業所種別	送付先	回答	回収率	備考
1	診療所	54	33	61.1	
2	病院	4	4	100.0	調査票別
3	歯科診療所	37	16	43.2	
4	訪問看護・訪問リハビリテーション	10	9	90.0	
5	通所介護（認知症含）・通所リハ	28	24	85.7	
6	特別養護老人ホーム	8	7	87.5	
7	介護老人保健施設	4	3	75.0	
8	有料老人ホーム等	21	12	57.1	
9	認知症グループホーム	15	8	53.3	
10	（看護）小規模多機能ホーム	8	7	87.5	
合計		189	123	65.1	

【調査票結果分析】

現在、集計・分析中です。

令和8年1月15日 北上市地域リハビリテーション部会にて報告予定

令和8年3月中 北上市在宅医療介護連携推進協議会にて報告予定

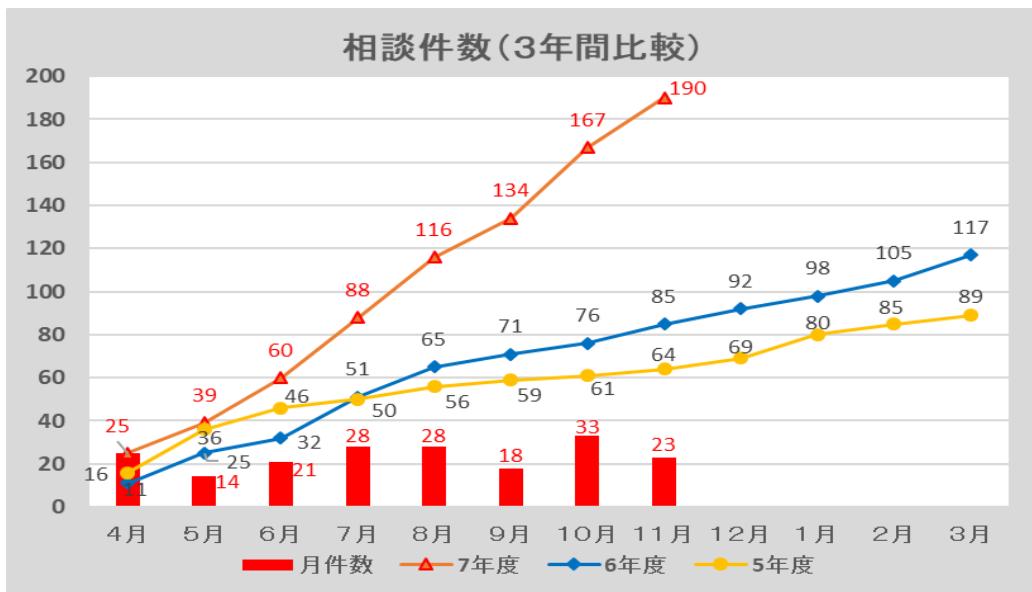
認定看護師等による出前研修申込・開催状況一覧【令和 7 年度】

【令和7年度申込状況(12/8現在)】

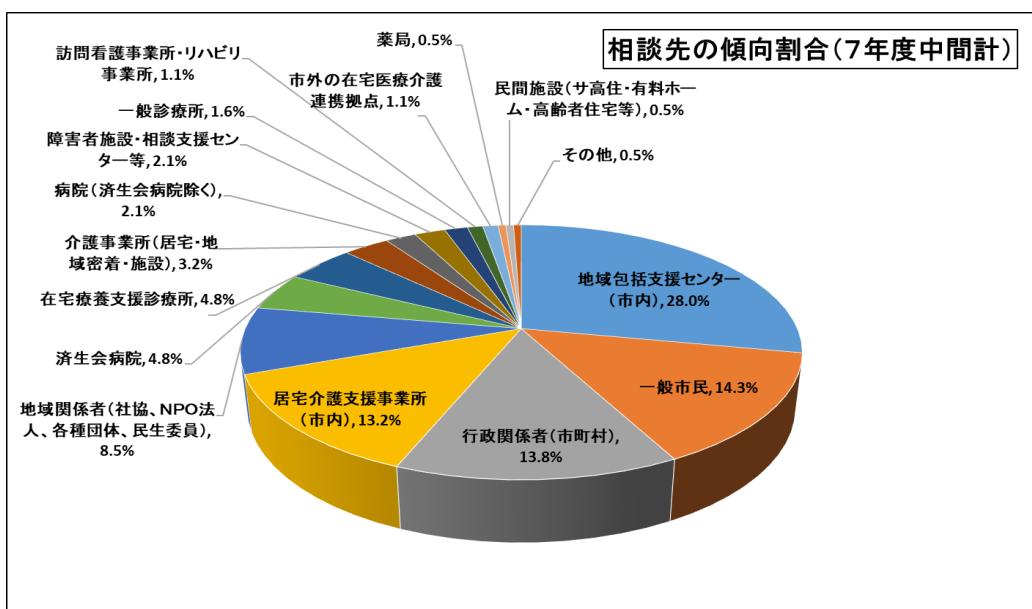
メニュー番号	研修分野	事業所コード	事業所種別	
1	感染管理	4	9	特別養護老人ホーム
2	皮膚・排泄ケア	2	10	介護老人保健施設
3	摂食・嚥下障害看護		11	有料老人ホーム等
4	認知症看護	3	12	認知症グループホーム
5	緩和ケア	3	新 13	(看護)小規模多機能ホーム
6	救急看護	2	14	短期入所施設
合計		14	合計	
(開催日順)				

No.	開催日 (希望日)	申込者		申込内容		講師 (所属先)	備考
		コード	事業所名	番号	研修分野		
1	9/22	14	ショートステイ紅音	6	救急看護	中村舞 (中部病院)	看護職 2名 介護職 他 9名
2	10/7	9	特別養護老人ホーム 敬愛園	1	感染管理	小原直子 (済生会病院)	看護職 2名 介護職 他 25名
3	10/9	14	ショートステイ紅音	4	認知症看護	小原久美子 (中部病院)	看護職 3名 介護職 他 6名
4	10/23	12	グループホームうえ のまち	1	感染管理	富手佳澄 (済生会病院)	看護職 0名 介護職 他 9名
5	11/17	13	看護小規模多機能 ホームあおやぎ	5	緩和ケア	和泉安弘 (中部病院)	看護職 5名 介護職 他 8名
6	11/26	9	特別養護老人ホーム さくら爽	2	皮膚・排泄ケア	千田由美子 (中部病院)	看護職 9名 介護職 他 47名
7	11/27	9	特別養護老人ホーム すずの里	4	認知症看護	小原久美子 (中部病院)	看護職 1名 介護職 他 14名
8	12/4	10	介護老人保健施設 まつみ	5	緩和ケア	和泉安弘 (中部病院)	(中止)
9	12/15	13	小規模多機能ホーム わが家	1	感染管理	小原直子 (済生会病院)	看護職 名 介護職 他 名
10	1/7	9	特別養護老人ホーム えびす	2	皮膚・排泄ケア	千田由美子 (中部病院)	看護職 名 介護職 他 名
11	1/21	11	ケアハウス エスカール	1	感染管理	高橋睦 (中部病院)	看護職 名 介護職 他 名
12	2/4	11	ケアハウス 常心の里	4	認知症看護	小原久美子 (中部病院)	看護職 名 介護職 他 名
13	2/20	12	ニチイケアセンター 北上駅前	6	救急看護	中村舞 (中部病院)	看護職 名 介護職 他 名
14	3/11	11	ケアハウス 常心の里	5	緩和ケア	和泉安弘 (中部病院)	看護職 名 介護職 他 名
15							

在宅きたかみ「相談業務統計」(R7.4月～R7.11月)

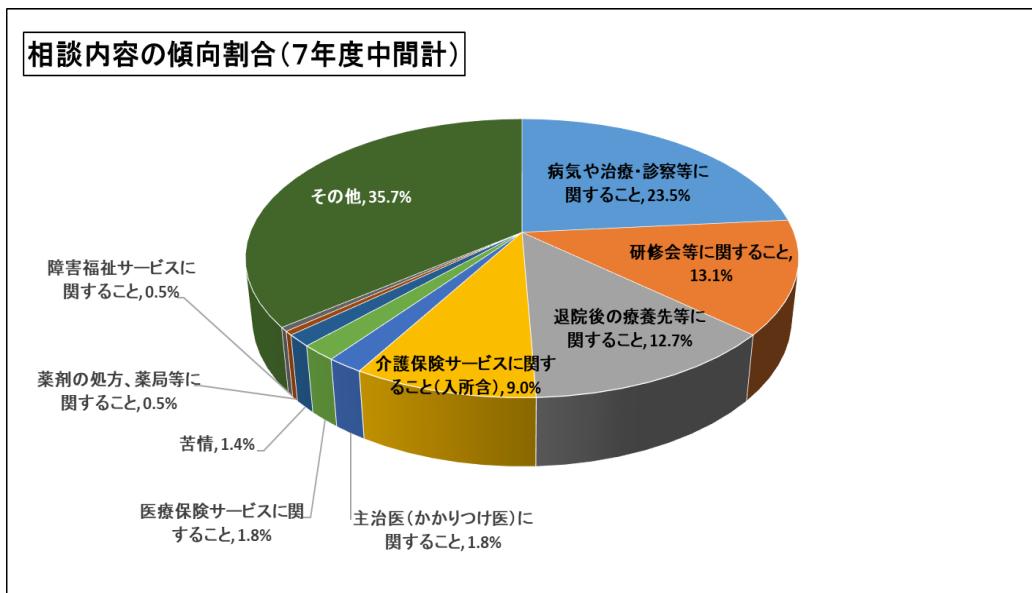


前年度 同時期より 105 件の大幅増加 となっている。月別 では 10月が 33 件と 最多かった。 相談件数のカウント をより細かくしたこと により件数が増加 した。



11月末時点では 地域包括支援センター、一般市民、行政関係者の順となっている。

- ①包括 53 件
- ②一般 27 件
- ③行政 26 件
- ④居宅 25 件



分類が難しい「その他」が例年通り多かったので項目の再編が必要。「その他」で多いのが、生活困窮、権利擁護、成年後見、レスパイトなど。

- ①その他 79 件
- ②病気治療 52 件
- ③研修会等 29 件
- ④療養先 28 件

令和7年度北上市在宅医療介護連携推進事業 今後の主な事業(予定)

項目	主催 (共催等)	事務事業名	実施時期	内容
会議等	市 在宅	第3回北上市在宅医療介護連携推進協議会【北上済生会病院】	3月中	・令和8年度事業方針
	在宅 市	第3回北上字在宅医療介護連携支援センター運営推進委員会【北上済生会病院】	3月中	同上
	在宅 市	第3回北上市入退院支援作業部会【北上済生会病院】	2月18日	・令和8年度活動方針 ・入退院支援ハンドブック活用連携会開催報告
	在宅 市	第3回北上市地域リハビリーション部会【北上済生会病院】	1月15日	・令和8年度活動方針 ・地域リハ関係専門職業務実態調査結果報告
	市 在宅	わたしのきぼうノート作成班	未定	・わたしのきぼうノート普及・啓発活動状況 ・意思決定支援研修会開催協議(報告)
研修 ・ イ ベ ン ト 等	在宅 医師会 市	意思決定支援研修会(ACPセミナー)【北上済生会病院】	2月6日	・わたしのきぼうノートの活用指導者養成等 ※12/25関係者打合せ会予定
	在宅 市 ケアマネ部会	第2回入退院支援ハンドブック活用連携会	1月 (再調整)	・医療従事者と介護関係者との多職種連携 ※10/23第1回開催済
	在宅 市	医療従事者向け権利擁護研修会	2月中	・医療従事者対象向けの権利擁護スキルアップ研修(北上市権利擁護センター共催)
	在宅 看護協会	認定看護師等による出前研修【各事業所】	1月～3月	・9～12月 8回開催済(1回中止) ・1～3月 5回開催予定 ※12/22申込〆切(開催は3/13まで)
	在宅 市	シン・ケアラボ@きたかみ	2月	・医療・介護・福祉従事者の多職種関係づくり ・市重層的支援体制整備事業「ハブラボきたかみ」とのコラボ開催を検討中
	厚労省 (トマツ)	地域の在宅医療の体制整備に向けた調査・連携支援事業におけるグループワーク研修	1月18日	・在宅医療の4場面の事例から都道府県ごとの在宅医療の体制整備について(各都道府県10名程度ごとのグループワーク/オンライン)
共催 ・ 後援 等	岩手県 (県医師会)	市町村職員等在宅医療・介護連携研修(実務研修) 【岩手県医師会館】	2月13日	・在宅医療・介護連携におけるコーディネーター機能について(講師:新潟市医師会) ・多職種連携の進め方(グループワーク)
	医師会 (在宅)	緩和ケア医療研修会 【北上済生会病院】	1月24日	・医療・介護従事者に知ってほしいグリーフケアの事 ※年内周知